



第38期 事業報告書

2005年4月1日～2006年3月31日

社長メッセージ	1
アップデート	5
てれとNAVI	7
トピックス	9
テレビ東京グループ	11
連結業績のご報告	13
単体業績のご報告	16
会社情報、株式情報	17
ホームページのご案内、株主メモ	18

社長メッセージ



2004年8月の東証一部上場をはさみ、3期連続で増収増益を達成しました。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第38期事業報告書をお届けするにあたり、皆様の日頃のご支援に心から御礼申し上げます。

2005年度(2006年3月期)は、企業業績や個人消費の回復を受けて、テレビ広告市場は総じて堅調に推移しました。このような環境の中、業績面では、連結・単体ともに3期連続で増収増益を確保することができました。

2006年度につきましては「勝負の年」と捉え、企業価値の拡大に向け、新たなスタートを切りました。

ここに、当社の目標、2005年度の実績および2006年度以降の取り組みなどに関し、私からご説明させていただきます。

3ヵ年計画(2005年4月スタート)

目標 :	「ニーズを先取りするタイムテーブル(番組編成)の実現」	
平均視聴率目標 :	ゴールデンタイム(午後7時~午後10時) :	10%
	プライムタイム(午後7時~午後11時) :	9%
	全日(午前6時~翌日午前0時) :	5%
経営指標 :	連結売上高営業利益率	5%

2005年度の実績について

業績

業績に関しては、お蔭様をもちまして、2004年8月の東証一部上場をはさみ、連結・単体ともに3期連続で増収増益となりました。

2005年度の連結業績につきましては、売上高は1,197億600万円と前期比1.4%増となり、過去最高を記録することができました。特にスポット収入が大きく伸びたことや、タイム収入とスポット収入の合計、国内の番組販売売上が過去最高となりました。

営業利益は、70億9,500万円と前期比27.5%増となりました。その結果、営業利益率は、前期比1.2ポイント増の5.9%となり、目標である5%をクリアできました。経常利益は、69億9,000万円と前期比26.8%増、当期純利益は、44億6,800万円と前期比46.0%増となり、過去最高を記録いたしました。

視聴率

視聴率は、ゴールデンタイムが8.2%(前期比0.1ポイント減)、プライムタイムが7.7%(前期と同値)と不十分な結果となりましたが、全日は3.7%(前期と同値)で歴代最高タイの記録となりました。

2006年度の計画について

業績計画

連結業績

2006年度の連結の売上高は1,219億円(前期比1.8%増)、営業利益は40億円(前期比43.6%減)、経常利益43億円(前期比38.5%減)、当期純利益24億円(前期比46.3%減)と増収減益を見込んでおります。

取り組み方針

“攻めの経営”へ

3期連続の増収増益を踏まえ、さらなる企業価値向上のために、今年度から“攻めの経営”を強力に推し進めます。

放送事業

番組制作費の大幅増額による、魅力的なコンテンツの創造

番組制作費は、前年度の実績が404億円でしたが、今年度は435億円を計画しており、この増額分の約5割はゴールデンタイムおよびプライムタイムの番組強化に、残りの約4割はスポーツなど話題性のある特別番組の制作に充てる予定です。



4本目の柱

当社の番組の特色は、「ワールドビジネスサテライト」や「ガイアの夜明け」などの経済報道、「ポケットモンスター」や「NARUTO」などのアニメ、「開運！なんでも鑑定団」や「出沒！アド街ック天国」などの健全な情報バラエティという3本柱であります。これに加え、今年度からドラマの制作を本格的に開始します。7月の組織改編では、「ドラマ制作室」を新設いたします。

お正月恒例の10時間ドラマ、および「水曜ミステリー9」などが着実に実績を上げていることに加え、昨年の「上を向いて歩こう～坂本九物語」など特別番組として放送してきたドラマの評価も高く、ドラマは骨太の柱に育つと確信しております。

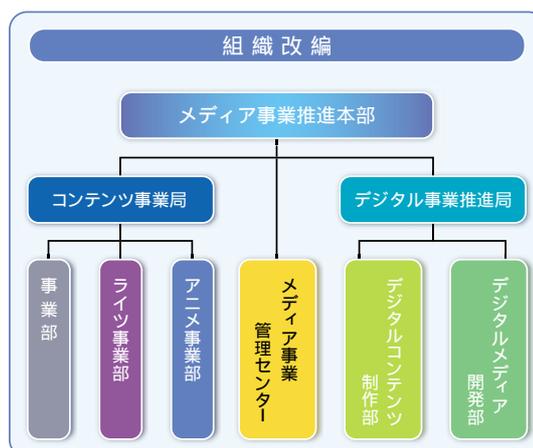
今年の10月、そして来年の4月に、それぞれ連続ドラマを立ち上げる予定です。

ライツ事業

組織改編

本年7月に「メディア事業推進本部」を新設し、その下に「コンテンツ事業局」と「デジタル事業推進局」、さらにライツ事業全般の収支を管理する「メディア事業管理センター」を置きます。

「コンテンツ事業局」は、従来通り、アニメ関連事業を手掛ける「アニメ事業部」、主にIT関連事業や出版事業を手掛ける「ライツ事業部」、そして映画出資事業やイベント事業を手掛ける「事業部」で組織します。



一方、「デジタル事業推進局」は、従来の「メディア開発局」を改組して新たに作る組織で、新しい技術の事業性の検討、およびワンセグやデータ放送、字幕放送、さらにはホームページの編集などを「デジタルメディア開発部」と「デジタルコンテンツ制作部」という2つの部で対応します。

三位一体の取り組み

海外市場への番組販売に、キャラクターグッズなどの販売を組み合わせる従来型のアニメ事業展開にプラスして、映画事業やイベントでの展開を加える“三位一体”の取り組みが軌道に乗り始めました。

配当政策について

当社は安定的な配当の継続を重視しつつ、株主様への配当による利益還元姿勢をさらに強めるため、配当額を連結業績に連動させる方針です。具体的には、1株当たり20円を下限とした安定配当に加えて、連結業績に連動した配当として、連結ベースで配当性向25%を目標にいたします。

なお、従来通り中間期末、期末日を基準とした年2回の配当を継続する予定です。
2006年度は、1株当たり年間30円を計画しております。

内部統制の取り組みについて

2006年5月9日開催の取締役会において、会社法および会社法施行規則に基づき、内部統制の基本方針と基本計画を決定いたしました。

基本方針の概要は以下の通りです。

1. コンプライアンス体制を強化する。
2. リスク管理体制を整備する。
3. 業務の効率化を図る。
4. 内部監査機能を充実させる。
5. 重要な情報を保存し整備する。
6. グループ企業体制を強化する。
7. 監査役監査の向上を図る。

この方針に基づき、計画を着実に推進し、上場企業として相応しいコーポレート・ガバナンスの充実を図ってまいります。

以上のように、当社は3期連続の増収増益を達成したことにより“攻めの経営”を押し進める基盤が整ったと判断いたしました。その上で、2006年度を「勝負の年」と位置付け、減益覚悟で番組制作費の大幅増額に臨みます。一時的な減益は避けられないと存じますが、コンテンツの充実による媒体価値の向上が、放送事業の基盤強化、そしてライセンス事業などの放送外事業へのシナジー効果を生み出し、必ずや企業価値の拡大に結び付くと確信しております。

今後の事業運営にご理解いただくとともに、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

2006年6月

代表取締役社長

菅谷定孝

アップデート



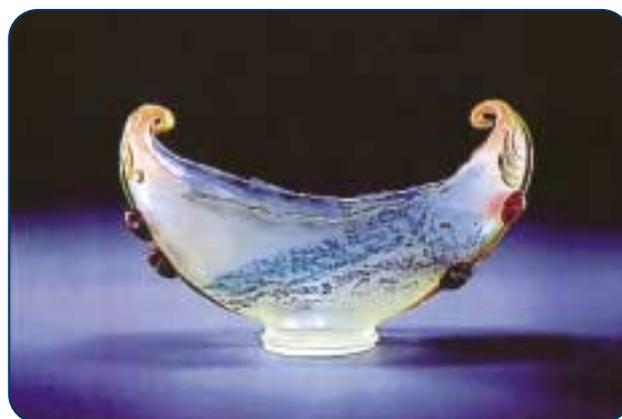
開運！なんでも鑑定団
(毎週火曜日20時54分～)



開局40周年記念映画
クイール



ケロロ軍曹
(毎週金曜日17時30分～)
© 吉崎観音 / 角川書店・サンライズ・テレビ東京・NAS



開局40周年記念事業
エミール・ガレ没後100年展

放送事業

タイム収入は、特別番組部門が、前年にアテナ五輪、40周年記念大型特別番組があった反動で苦戦したものの、ネット部門における大型新番組の導入などにより、全体では605億2,400万円の前期比0.1%減とほぼ前期実績を確保しました。

スポット収入は、東京地区全体で、スポット出稿が前年を下回る厳しい環境であったにもかかわらず、企画セールスを積極的に展開し、また当社のシェアの高い金融・保険業などを積極的に取り込んで、全体では286億2,100万円と前期比3.4%の増収、過去最高の売上高となりました。

番組販売は、国内番組販売収入が「開運！なんでも鑑定団」などの料金アップに加え、「土曜スペシャル」、「日曜ビッグバラエティ」や年末番組のセールスが好調に推移したことから、前期実績を上回り

ました。海外番組販売収入およびBS・CS放送向け番組販売収入は、「NARUTO」が「遊戯王デュエルモンスターズ」の落ち込みをカバーするまでに成長するなかで、「ケロロ軍曹」も好調に推移しており、今後のさらなる伸びが期待されます。

以上の結果、放送事業の売上高は1,076億8,600万円と前期比0.9%増、営業利益は63億1,200万円と前期比15.1%増となりました。



ペット大集合！ポチたま
(毎週金曜日19時～)



NARUTO
(毎週水曜日19時27分～)
©岸本斉史 スコット/集英社・テレビ東京・びえろ



上を向いて歩こう～坂本九物語
(2005年8月21日放送)



新春ワイド時代劇 天下騒乱 徳川三代の陰謀
(2006年1月2日放送)

ライツ事業

ライツ事業においては、「遊戯王デュエルモンスターズ」が伸び悩んだものの、アニメ「NARUTO」、「BLEACH」、「ポケットモンスター」に係る二次利用、映画部門では「クイール」や「劇場版ポケットモンスター2004」など、イベント部門では「エミール・ガレ没後100年展」などが好調であったほか、音楽出版部門も堅調に推移し、前期に比べて収支面では大きく改善しました。

以上の結果、ライツ事業の売上高は127億700万円、前期比5.2%増、営業利益は10億5,100万円、前期比328.8%増となりました。

番組編成

2005年度の平均視聴率はゴールデンタイム8.2% (前期比0.1ポイント減)、全日3.7% (前期と同値)

プライムタイム7.7% (前期と同値) となりました。全日の3.7%は歴代最高タイの記録であり、スポット収入に大きく貢献しました。ゴールデンタイムに関しては、「ペット大集合！ポチたま」が前期と比べて1.1ポイント増となったほか、「月10万円で豊かに暮らせる町&村」(前期の同枠比1.0ポイント増)、「水曜ミステリー9」(前期比0.9ポイント増)などが貢献しました。一方、「NARUTO」(前期比1.6ポイント減)、「開運！なんでも鑑定団」(前期比1.3ポイント減)などが前期を下回りました。特別番組では、プロ野球「パ・リーグプレーオフ最終戦」(視聴率17.0%)、ドラマ「上を向いて歩こう～坂本九物語」(同16.9%)、プロ野球「日本シリーズ第2戦」(同15.8%)、新春ワイド時代劇「天下騒乱第1部」(同15.0%)などが高視聴率を獲得しました。



カンブリア

日経スペシャル RYU'S TALKING LIVE

宮殿



日経スペシャル・カンブリア宮殿

(毎週月曜日22時～)

当社は、「ワールドビジネスサテライト」で経済ニュース、「ガイアの夜明け」で経済ドキュメンタリーという他局にない新しい経済番組を作ってきました。

そして今回、「日経スペシャル」として新たに挑むのが経済トーク番組「カンブリア宮殿」です。

番組のコンセプトは“ニュースが伝えない日本経済”です。いま経済ニュースの現場や裏側では一体何が起きているのか？そして、この大変革時代の“勝利の方程式”とは何か？誰もが聞きたい質問の数々を旬の経済人にぶつける番組です。

インタビュアーは、経済に精通している作家の村上龍さんと、タレントとしてマルチな才能を發揮している小池栄子さんです。

番組のタイトルは、村上龍さんのアイデアです。「カンブリア紀」というのは、約5億5000万年前に、多種多様な生物が、次の進化を求めて爆発的に出現した時代のことです。同じように大変革の時代を迎えた現在の日本の経済界でも、次の進化を担う様々な顔ぶれの経済人が登場しています。

そんな「平成カンブリア紀の多士済々の経済人」を宮殿にお招きして話を伺おう という意味を込めて、「カンブリア宮殿」というタイトルを付けました。

番組には、これまでトヨタの張富士夫副会長(当時)、竹中平蔵総務大臣など錚々たるゲストが出演しました。しかし、今後は「この人が経済人？」というような意外なゲストも登場を予定しています。この番組では、「世の中で仕事をしている人すべて」を「経済人」として捉えています。よって、現場の営業スタッフや商品の開発者、さらにはスポーツ選手やタレントの方々にも出演願います。

「カンブリア宮殿」は、大人のためのエンターテインメント番組を目指します。大人の方々に、

味わいのあるトークを楽しんでいただき、「仕事の大切さ、素晴らしさ」を村上龍さん・小池栄子さんと、ゲストの方々の言葉を通じて伝えていきたいと思ひます。

その意味では、これから、仕事を探して、仕事に就き、日本の将来を担っていく...そんな若い人たちにも、ぜひ見てほしいと思ひています。



報道局報道番組部
プロデューサー 福田一平

番組のご案内

「豪腕！コーチング!!」

「才能を伝授する、という能力がこの世の中にはある」を旗印に、「豪腕！コーチング!!」はスタートしました。

毎回2人の「豪腕コーチ」がそれぞれ別の芸能人を鍛え上げ、最終的に「豪腕コーチ」の教え子が対決して雌雄を決する「教え上手対決」がテーマの新しい番組です。

コーチするのは、スポーツや楽器といった“定番”ものから受験勉強まで、ジャンルは多岐にわたります。経験値ゼロのタレントが10日間の短期練習の中で見せる苦しみ、涙、叫び…。

そして、生徒が体得した技と精神的成長を、是非ご覧いただきたいと思います。

生徒(タレント)とコーチの衝突、葛藤、そしていつしか芽生える師弟感情も、当番組ならではのハイライトと自負しています。



ド短期ツメコミ教育 豪腕!コーチング!!
(毎週月曜日20時54分～)

「主治医が見つかる診療所」

難手術といわれる心臓バイパス手術において、年間300件もの手術を行うベテラン医師が担当しても、ほとんど経験のない新人医師が担当しても、同じ手術代だと知っていましたか？ だったら経験豊富な腕のいい医師に担当してほしい。しかし、その情報を「どこで」「どうやって」手に入れればいいのか分からない。そんな悩める患者の皆さんの「医師選び」の疑問にお答えするのが、この「主治医が見つかる診療所」です。医師が10人いれば、考え方も治療法も10通り。そんな医療、医師の実態をお伝えいたします。



主治医が見つかる診療所
(毎週月曜日20時～)

「いきなり結婚生活」

現在30～34歳の未婚率は、男性で42.9%、女性で26.6%といずれも急上昇しています。そこで、一組でも多くのカップルが誕生することを願って、司会にみのもんたさんを起用し、本番組がスタートしました。

結婚相手を探す1人の女性が、2人の男性のそれぞれの家で、相手の男性はもちろん両親とも触れ合い3泊4日を過ごします。そして、クライマックスはスタジオです。2人の男性からプロポーズを受け、ついに女性は決断を下します！彼女が付き合うのはどちらの男性なのでしょう？！ もしくは、どちらも選ばれないのでしょうか？！ 結婚疑似体験を通して、結婚とは何なのか？ 家族とは何なのか？ 男女の愛、親子の愛、家族の愛とは…。「愛」をテーマにした新しいタイプのバラエティ番組です。

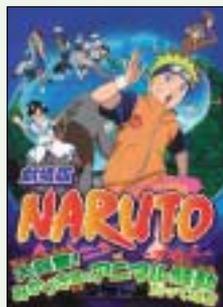


いきなり結婚生活
(毎週月曜日19時～)

映画のご案内



© Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo
・Sho Pro・JR Kikaku・© Pokémon
© 2006ピカチュウプロジェクト



© 岸本斉史・スコット/集英社・テレビ東京
・びえろ

今年の夏もテレビ東京の人気アニメ作品が公開されます。7月15日からはポケモンシリーズ第9弾「ポケモンレンジャーと蒼海(うみ)の王子マナフィ」。夏らしく壮大な海を舞台にした冒険ファンタジーです。

8月5日からはNARUTOシリーズ第3弾「大興奮！みかづき島のアニマル騒動(パニック)だってばよ」。任務遂行中にサーカス団の動物たちと遭遇してしまったNARUTOたち…。今までのNARUTOとは一味違った大活躍が楽しめる作品となっています。

今年の夏はファミリー映画や大型アニメが目白押し。大激戦の中で、定番アニメの強さを発揮します。

地上デジタル放送・ワンセグ始動！

2003年12月から始まった地上デジタル放送では、デジタルハイビジョンの高画質に加えて、データ放送が大きな特徴です。株式情報では、東証・ジャスダックの全銘柄を閲覧できるほか、視聴者の皆様が60銘柄まで「My株価」として登録して、いつでも株価をチェックできます。番組内容と関連情報を連動させる連動データ放送では、人気番組「いい旅・夢気分」において、番組進行に合わせて訪問先の詳細データが紹介されるなど、“テレビ東京ならではの”特徴を際立たせています。

また、2006年4月から始まった地上デジタル放送が携帯電話などで閲覧できる「ワンセグ」においても、当社を代表する番組「ガイアの夜明け」「いい旅・夢気分」「ペット大集合！ポチたま」に加えて、「木曜洋画劇場」の4番組で連動データ放送を行っています。

「世界卓球2006」では、「トリノ五輪」のノウハウを活用して、試合経過を連動データ放送で展開しました。5月14日の「フィギュアスケート ジャパンオープン」やプロ野球交流戦、W杯サッカーでも連動データ放送が楽しめる仕組みを作り、ワンセグでも“テレビ東京ならではの”魅力を追求めてまいります。



いい旅・夢気分
(毎週水曜日20時～)



インターネットサービス連動番組を大幅増枠

2006年4月よりインターネットサービスとの連動を目的とした5つの企画をスタートしました。放送と通信サービスとの連携の進展を見据え、モバイル端末向けコンテンツ配信、Eコマース、ブログの3つのテーマを番組に組み込んでいます。

利用者層の特性に合わせて、すべて深夜枠で開始しています。

Eコマースでは、月曜25時の「大人のロック推進計画・ROCK FUJIYAMA」、大人のロックのムーブメントの輪を広げると同時に、音楽ソフトなどを企画販売しています。

また、火曜26時30分の「ぷっちぬき」内で連動する「レッツゴー・ショッピングサイト」では、実際の街をシミュレートしたネットショッピングサイトと業務提携しています。そのほか木曜25時30分「シネマ通信」、金曜25時30分「ブログの女王」、日曜26時「今夜もドル箱！！R」の3番組も、それぞれインターネットサービスと連動して放送中です。

今後も、ゴールデンタイム番組との連動強化と、番組ジャンル別ポータルサイトの強化・新規立ち上げを行っていく予定です。



ブログの女王
(毎週金曜日25時30分～)



キノシタグループカップ フィギュアスケート ジャパンオープン2006

2006年5月14日に、当社主催の「キノシタグループカップ フィギュアスケート ジャパンオープン 2006」が、国際スケート連盟公認・日本スケート連盟後援の日本・北米・欧州の3地域対抗団体戦として開催されました。本来、個人競技であるフィギュアスケートに団体戦としての新しい魅力を加え、世界を代表するアマチュア選手とプロ選手が同じ採点基準で競技するという画期的な大会となり、エキジビションでは、トリノ五輪金メダリストの荒川静香さんも参加しました。

当日は日本フィギュアスケート史上最多の約17,000人が詰めかけ、浅田真央・安藤美姫・本田武史・高橋大輔の4選手からなる日本チームの優勝に大喝采を送りました。

同日20時からの放送も14.5%(21時台は19.3%)の高視聴率を獲得しました。

また、追加公演として同日夜開催した「フィギュアスケート ジャパンオープン 2006 GALA」も、約8,000人の観衆が参加選手たちの華麗な演技に酔いしれました。



世界卓球選手権 2006 団体戦

2006年4月24日から5月1日までドイツのブレーメンで行われた「世界卓球選手権 2006」。卓球界においてはオリンピックに次ぐ権威ある大会で、団体戦と個人戦を交互に開催します。今年は団体戦にあたり、日本女子は3大会連続の銅メダルを獲得しました。

テレビ東京では、キャスターにタレントの照英さんを起用し、ゴールデン帯を中心にグループリーグから1週間に渡って放送。福原愛選手を中心とした日本女子メンバーは、試合を重ねるごとに強さを増していき、団体戦ならではの迫力で視聴者を魅了しました。

日本女子の勝ち上がりとともに放送は盛り上がりを見せ、4月28日の準々決勝「日本×ハンガリー」は視聴率12.0%、4月29日の準決勝「日本×香港」では12.9%を記録しました。

2009年には、横浜で「世界卓球選手権 個人戦」の開催が決定しており、テレビ東京では、横浜大会を見据えて、今後も「世界卓球選手権」を放送する予定です。



テレビ東京グループ

放送事業〔地上波放送、番組販売等〕

番組制作・放送関連業務等

連結子会社

株 テレビ東京コマーシャル	CM放送の準備
株 テレビ東京アート	美術装置・番組用照明の企画制作
株 テレビ東京システム	システム開発
株 テレビ東京制作	番組の企画・制作
株 テレビ東京ヒューマン	放送準備
株 テクノマックス	技術制作
株 テレビ東京建物	スタジオ管理
TV TOKYO AMERICA, INC.	米国報道

持分法適用関連会社

株 日経映像	番組制作
--------	------

その他

連結子会社

株 テレビ東京メディアネット	番組販売
株 プロント	通信販売・広告販売
株 エー・ティー・エックス	アニメ番組提供

持分法適用関連会社

株 インタラクティブヴィ	CS委託放送
テレビ東京プロードバンド 株	映像コンテンツの配信・提供

番組制作関連
業務委託等

番組販売委託・
映像コンテンツ供給等

放送事業

〔地上波放送、
番組販売、
BS放送関連等〕

テレビ東京
TV TOKYO Corporation

ライツ事業

〔ソフトライツ・
イベント等〕

音楽番組関連
業務の委託等

番組制作協力・
情報提供等

番組宣伝の広告の掲載、
情報・コンテンツの
提供等

ライツ事業〔ソフトライツ・イベント等〕

連結子会社

株 テレビ東京ミュージック	音楽著作権の管理、イベント、音楽番組の制作等
---------------	------------------------

その他の関係会社

株 日本経済新聞社	新聞・出版
-----------	-------

グループ会社紹介

テレビ東京ブロードバンド株式会社

テレビ東京ブロードバンド株式会社は、テレビ東京のメディア開発局インターネット部が発展拡大し、2001年3月に別会社としてスタートしました。テレビ東京の出資比率は34.6%です。

設立当初は、テレビ東京のホームページの編集やテレビ東京のアニメサイト「アニメX」の運営などが中心でしたが、現在では、テレビ東京の番組との連携による「てれともばいる」、およびスヌーピーやミッフィーなどのメジャーキャラクターのコンテンツ配信事業、法人向けにシステム提供を行うソリューション事業、チェブラーシカなどの著作権管理事業を中心に展開しています。

2005年12月には東証マザーズに上場、資金調達を行い、FM放送局のエフエムインターウェブ株式会社へ資本参加するなど、FMラジオと連携した音楽ビジネスを開始しました。ブロードバンド配信に向けた先進技術の獲得など、新たな事業開発を進めており、テレビ東京グループのIT企業として、さらなる成長が期待されます。

会社概要 (2006年3月31日現在)

設立： 2001(平成13)年3月
資本金： 14億8,350万円(テレビ東京34.6%出資)
上場取引所： 東証マザーズ(証券コード番号 3786)
売上高： 28億8,400万円(2006年3月期)
従業員数： 49名
事業内容： 放送コンテンツ・キャラクターコンテンツ、経済コンテンツ等の権利獲得処理、およびインターネット、モバイル、ブロードバンド、他メディアへの配信
URL： www.tx-bb.com/



株式会社テレビ東京ミュージック

株式会社テレビ東京ミュージックは、音楽という夢あるコンテンツを創造する総合エンターテインメントカンパニーです。

事業は、全世界に及ぶ音楽著作権管理を中心とし、アーティスト開発やヒット曲の創造、プロモーション、さらにコンサートやミュージカルの制作まで多岐にわたっています。

また、テレビ東京の番組テーマ音楽をはじめ、ロック・R&B・レゲエ・Jポップ・アニメ音楽・演歌・クラシック・ジャズなど、あらゆるジャンルの作品を手がけ、すべての音楽ファンにご満足いただける企業を目指しています。

会社概要 (2006年3月31日現在)

設立： 1969(昭和44)年8月
資本金： 1,000万円(テレビ東京100%出資)
売上高： 33億3,000万円(2006年3月期)
従業員数： 11名
事業内容： レコードの原盤および音楽録音物の制作著作権および著作隣接権の国内および国外における譲受と譲渡
音楽を主体とした放送番組の企画・制作
コンサート・イベント等の企画制作
CMソング・映画音楽・番組テーマ曲の制作
アーティストの発掘・育成・マネージメント
広告代理業務
URL： www.ttmnet.co.jp/

テレビ東京ミュージックが制作する演歌番組「洋子の演歌一直線」
(毎週日曜日午前5時45分～)

司会： 長山洋子

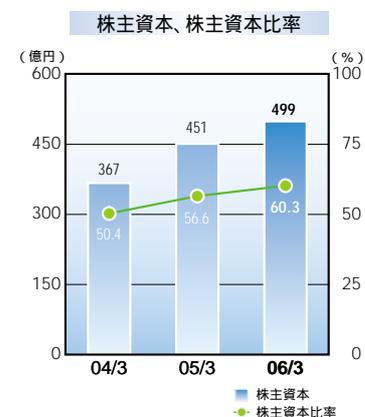
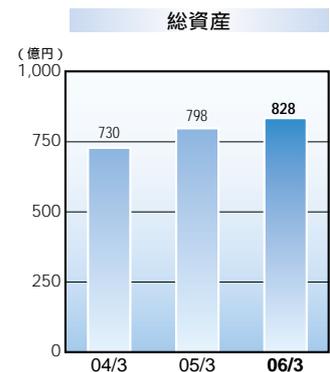
番組内容： “やっぱり演歌はいい！”を実感できる歌番組を目指します。
今や日本を代表する演歌歌手の一人となった長山洋子さんが、毎回歌謡界のビッグなゲストを迎えて、歌と楽しいトークでつづる音楽番組です。ぜひご覧ください。



連結業績のご報告

(2005年4月1日から2006年3月31日まで)

連結貸借対照表	(単位: 百万円)	
	当期 (2006年3月31日現在)	前期 (2005年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	47,374	45,480
現金及び預金	12,285	11,077
受取手形及び売掛金	21,804	20,862
たな卸資産	11,919	12,031
繰延税金資産	559	747
その他	815	799
貸倒引当金	9	38
固定資産	35,463	34,384
有形固定資産	16,122	17,208
建物及び構築物	7,688	7,930
機械装置及び運搬具	3,809	4,455
工具器具備品	299	327
土地	4,324	4,368
建設仮勘定	1	126
無形固定資産	1,433	1,410
投資その他の資産	17,907	15,765
投資有価証券	12,052	8,119
長期貸付金	150	170
繰延税金資産	1,219	3,174
その他	4,508	4,301
投資損失引当金	13	-
貸倒引当金	10	0
資産合計	82,838	79,864
(負債の部)		
流動負債	26,356	19,268
支払手形及び買掛金	4,912	4,239
短期借入金	200	200
1年以内返済予定長期借入金	3,277	777
1年以内償還予定社債	3,900	-
未払費用	8,625	8,260
未払法人税等	426	1,696
繰延税金負債	3	3
その他	5,011	4,091
固定負債	5,643	14,618
社債	-	3,900
長期借入金	777	4,054
退職給付引当金	3,098	6,238
役員退職慰労引当金	431	384
長期未払金	1,271	-
その他	64	41
負債合計	32,000	33,886
(少数株主持分)		
少数株主持分	866	789
(資本の部)		
資本金	8,910	8,910
資本剰余金	8,684	8,684
利益剰余金	30,336	26,683
その他有価証券評価差額金	2,039	926
為替換算調整勘定	1	16
自己株式	0	0
資本合計	49,971	45,188
負債、少数株主持分及び資本合計	82,838	79,864



連結貸借対照表の要旨

資産合計は、売上高増に伴う受取手形及び売掛金の増加などにより、828億3,800万円と前期比1.4%増となりました。負債合計は、320億円と前期比5.6%減となりました。資本合計は、当期純利益やその他有価証券評価差額金の増加により、499億7,100万円と前期比10.6%増となりました。

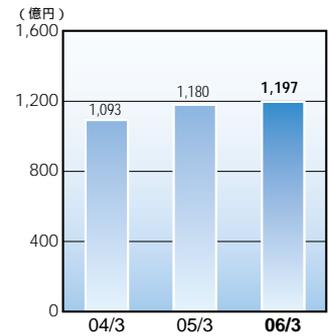
その結果、当期の株主資本比率は60.3%となり3.7ポイント向上しました。

連結損益計算書

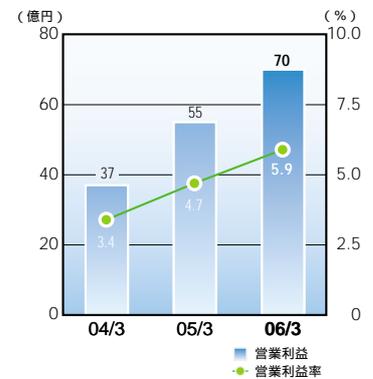
(単位：百万円)

	当期 (2005年4月1日～ 2006年3月31日)	前期 (2004年4月1日～ 2005年3月31日)
売上高	119,706	118,027
売上原価	80,516	81,207
売上総利益	39,190	36,819
販売費及び一般管理費	32,094	31,253
人件費	7,496	7,323
退職給付費用	201	270
役員退職慰労引当金繰入額	141	127
代理店手数料	17,579	17,105
貸倒引当金繰入額	1	5
貸借料	1,195	1,123
減価償却費	565	447
その他	4,913	4,850
営業利益	7,095	5,566
営業外収益	423	446
受取利息	12	11
受取配当金	75	51
持分法による投資利益	-	81
賃貸料収入	92	107
放送関連業務受託収入	-	39
字幕放送助成金	44	33
保険解約益	50	-
その他	147	120
営業外費用	528	496
支払利息	196	241
為替差損	66	-
持分法による投資損失	0	-
リース解約損	68	-
その他	195	255
経常利益	6,990	5,515
特別利益	497	-
持分変動益	497	-
税金等調整前当期純利益	7,488	5,515
法人税、住民税及び事業税	1,538	2,385
法人税等調整額	1,387	77
少数株主利益	94	7
当期純利益	4,468	3,060

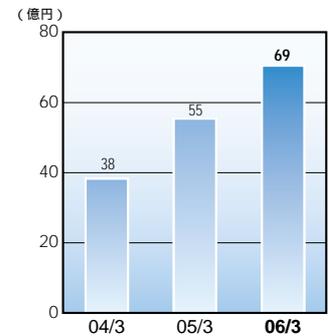
売上高



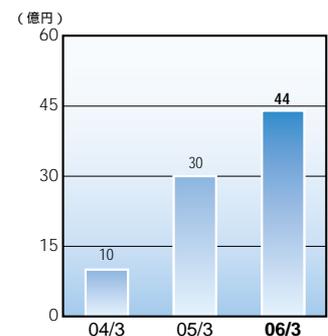
営業利益、営業利益率



経常利益



当期純利益



連結損益計算書の要旨

売上高は、1,197億600万円と前期比1.4%増となったうえ、売上原価が番組制作費やソフト費の減少により805億1,600万円と前期比0.9%減となったため、売上総利益が391億9,000万円と前期比6.4%増となりました。その結果、売上高総利益率も32.7%と1.5ポイント向上しました。また、販売費及び一般管理費が320億940万円と前期比2.7%増となりましたが、営業利益は70億9,500万円と前期比27.5%となり、売上高営業利益率も5.9%と1.2ポイント向上しました。経常利益は69億9,000万円と前期比26.7%増、当期純利益は44億6,800万円と前期比46.0%増となりました。

連結剰余金計算書		(単位：百万円)	
	当期 (2005年4月1日～ 2006年3月31日)	前期 (2004年4月1日～ 2005年3月31日)	
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	8,684	5,343	
資本剰余金増加高	-	3,340	
増資による新株の発行	-	3,340	
資本剰余金期末残高	8,684	8,684	
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	26,683	24,136	
利益剰余金増加高	4,468	3,060	
当期純利益	4,468	3,060	
利益剰余金減少高	815	513	
配当金	722	434	
役員賞与	93	78	
利益剰余金期末残高	30,336	26,683	

連結キャッシュ・フロー計算書		(単位：百万円)	
	当期 (2005年4月1日～ 2006年3月31日)	前期 (2004年4月1日～ 2005年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,701	8,785	
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,907	2,563	
財務活動によるキャッシュ・フロー	586	3,197	
現金及び現金同等物の増減額	1,208	9,419	
現金及び現金同等物の期首残高	11,077	1,657	
現金及び現金同等物の期末残高	12,285	11,077	

連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、当社グループが本業(主たる営業活動)において、どのくらいの資金を獲得したかを表します。当期は、税金等調整前当期純利益が74億8,800万円となったものの、退職給付制度変更に伴う支出増加や法人税等の支出増加などにより、47億100万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、将来の利益獲得や資金運用のために、どのくらいの資金を支出・回収したかを表します。当期は、地上波放送のデジタル化に対応するための有形固定資産取得や、投資有価証券の追加取得による支出により、29億700万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、営業活動及び投資活動を維持するための資金をどのくらい調達・返済したかを表します。当期は、長期借入金の返済や配当金の支払いなどの支出により、5億8,600万円の支出となりました。

これらの結果、当期末における現金及び現金同等物は、122億8,500万円と前期比10.9%増となりました。

単体業績のご報告

(2005年4月1日から2006年3月31日まで)

貸借対照表 (単位: 百万円)		
	当期 (2006年3月31日現在)	前期 (2005年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	44,747	43,008
固定資産	34,232	33,639
有形固定資産	15,621	16,646
無形固定資産	1,454	1,495
投資その他の資産	17,156	15,498
資産合計	78,979	76,647
(負債の部)		
流動負債	29,212	21,668
固定負債	5,078	14,017
負債合計	34,290	35,686
(資本の部)		
資本金	8,910	8,910
資本剰余金	8,684	8,684
利益剰余金	25,066	22,441
利益準備金	410	410
任意積立金	19,100	18,100
当期末処分利益	5,556	3,931
其他有価証券評価差額金	2,028	924
自己株式	0	0
資本合計	44,689	40,961
負債・資本合計	78,979	76,647

損益計算書 (単位: 百万円)		
	当期 (2005年4月1日 - 2006年3月31日)	前期 (2004年4月1日 - 2005年3月31日)
売上高	108,365	106,775
売上原価	73,440	73,791
売上総利益	34,924	32,984
販売費及び一般管理費	29,617	28,618
営業利益	5,306	4,365
営業外収益	770	639
営業外費用	423	473
経常利益	5,653	4,532
税引前当期純利益	5,653	4,532
法人税、住民税及び事業税	892	1,880
法人税等調整額	1,353	68
当期純利益	3,407	2,583
前期繰越利益	2,406	1,503
中間配当額	258	154
当期末処分利益	5,556	3,931

利益処分 (単位: 百万円)		
	当期	前期
当期末処分利益	5,556	3,931
これを次の通り処分します。		
利益処分量	2,102	1,525
配当金	423	464
取締役賞与金	79	61
別途積立金	1,600	1,000
次期繰越利益	3,453	2,406

配当状況		
	当期	前期
配当金総額(年間)	681百万円	619百万円
1株当たり年間配当金	33円00銭	30円00銭
中間配当	12円50銭	7円50銭
期末配当	20円50銭	22円50銭
配当性向	20.5%	23.7%
連結ベースでの配当性向	15.7%	20.2%

会社情報

(2006年3月31日現在)

会社の概要

会社名： 株式会社テレビ東京 (TV TOKYO Corporation)
 開局： 1964年4月12日
 呼出符号： JOTX-TV(アナログ12チャンネル)
 JOTX-DTV(デジタル7チャンネル)
 資本金： 89億1,095万円
 従業員数： 連結1,180名、単体669名

役員 (2006年6月23日現在)

代表取締役社長

菅谷 定彦

専務取締役

森 廣成
 島田 昌幸
 三澤 啓二

常務取締役

箕輪 新一
 熊村 剛幸
 犬飼 正

取締役

原田 利一
 島川 哲雄
 石川 博
 菊池 悟
 張替 正美
 山口 眞名
 神田 忠慶
 佐々木 彰
 藤延 直道
 平田 保雄

常勤監査役

奥川 元

監査役

小川 大策
 野村 尚宏
 荒木 浩
 齋藤 宏

(注)1. 取締役 平田保雄氏は社外取締役です。
 2. 監査役 野村尚宏、荒木浩、齋藤宏の3氏は社外監査役です。

主な事業所

本社・スタジオ (東京都港区)
 天王洲スタジオ (東京都品川区)

支社・支局

関西支社 / 名古屋支社 / ニューヨーク支局 / ワシントン支局 / ロンドン支局 / モスクワ支局 / 香港支局 / ソウル支局 / 北京支局 / 上海支局

衛星放送提携会社

会社名	出資比率	主要な事業内容
株式会社BSジャパン	14.00%	BS放送事業
www.bs-j.co.jp		
*当社以外に連結子会社3社で計0.76%を所有しています。		
株式会社日経シー・エヌ・ビー・シー	14.00%	CS放送事業
www.nikkei-cnbc.co.jp		

TXNネットワーク

TXNネットワークは、テレビ東京をキー局として系列を組み、ネットワークを構築しています。6局で構成された効率的なネットワークは、全国視聴可能世帯の67.3%をカバーしています。



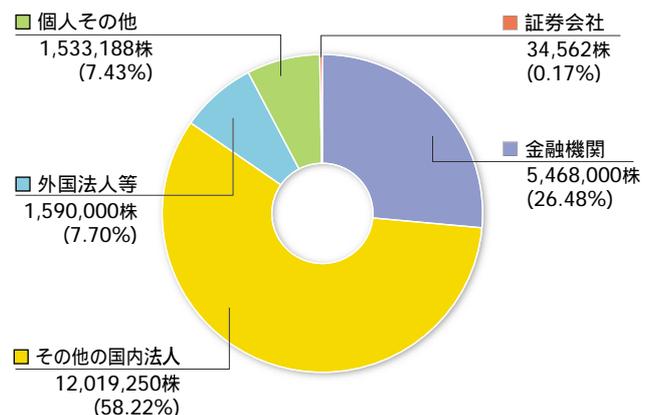
株式情報

(2006年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	82,580,000株
発行済株式総数	20,645,000株
株主数	4,728名
1単元の株式数	100株
大株主	
株主名	持株数(千株) 議決権比率(%)
株式会社日本経済新聞社	6,881 33.60
日本生命保険相互会社	1,036 5.06
株式会社三菱東京UFJ銀行	984 4.81
株式会社みずほ銀行	600 2.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	590 2.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	573 2.80
東レ株式会社	518 2.53
株式会社毎日放送	518 2.53
三菱商事株式会社	518 2.53
三井物産株式会社	518 2.53

所有者別株式分布状況



ホームページのご案内

番組情報をはじめ、当社が出資している映画・イベント情報など様々な情報をホームページでもご覧いただけます。ぜひ一度アクセスしてください。



当社ホームページ
www.tv-tokyo.co.jp

また、IR情報のページでは、毎月の売り上げ実績、事業報告書、有価証券報告書などを掲載しています。四半期ごとの決算説明会の模様を動画配信していますので、ブックマークしてご活用ください。



当社IR情報のホームページ
www.tv-tokyo.co.jp/kaisha/ir

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催(議決権の基準日は毎年3月31日)
剰余金の配当	株主総会の決議により、毎年3月31日の最終の株主名(実質株主名簿を含む。)に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
中間配当	中間配当を実施する場合は、取締役会の決議により、毎年9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む。)に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先・お問い合わせ先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 専用ホームページの“お手続き内容”で一部届出用紙の出力ができます。 http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

外国人等の株主名簿への記載制限

放送法に関連して、当社定款には次の規定があります。

【定款第12条】

当社は、次の各号に掲げる者(以下「外国人等」という。)のうち、第1号から第3号までに掲げる者により直接に占められる議決権の割合と、これらの者により第4号に掲げる者を通じて間接に占められる議決権の割合として総務省令で定める割合とを合計した割合が、当社の議決権の5分の1以上を占めることとなるときは、放送法第52条の8第1項及び第2項の規定に従い、外国人等の取得した株式について、株主名簿(実質株主名簿を含む。)に記載または記録することを拒むことができる。

- (1)日本の国籍を有しない人
- (2)外国政府またはその代表者
- (3)外国の法人または団体
- (4)前3号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体

株主優待のお知らせ

当社では、株主の皆様当社に事業をよりご理解いただくために、公開番組へ抽選でご招待しています。また、当社オリジナルクオカード(500円分)を作成し謹呈しています。

毎年3月31日現在の所有株式100株以上の株主様に対し

- (1) 500円のオリジナルクオカードを1枚謹呈
- (2) 当社公開番組「夏祭りにっぽんの歌」に抽選でご招待

毎年9月30日現在の所有株式100株以上の株主様に対し

- (1) 500円のオリジナルクオカードを1枚謹呈
- (2) 当社公開番組「年忘れにっぽんの歌」に抽選でご招待



当社オリジナルクオカード



お問い合わせ先

株式会社テレビ東京 総務局総務部

〒105-8012 東京都港区虎ノ門4-3-12

Tel.(代表) 03-3432-1212



本報告書は、環境保全のため、古紙100%再生紙を使用し、「大豆油インキ」で印刷しています。